

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 4 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 3 年 1 1 月 1 日 (火) 午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、福井委員、野口委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 三者合同研修について</p> <p>2 公民館運営審議会について</p> <p>3 公民館事業評価について</p> <p>4 市民活動団体等リストについて</p> <p>5 その他</p> <p>○次回の日程 1 2 月 6 日 (火) 午前 1 0 時から</p>		

司会 末包企画実行委員

それでは、三者合同研修について、よろしくお願いします。

1 三者合同研修について

渡辺（陽）：今回は、正式な通知が来ていませんでしたが、日程だけ説明させていただきました。繰り返しになりますが、ご報告します。12月13日（火）午後2時から公民館貫井南分館学習室A Bで行います。テーマは「東日本大震災から学ぶ公民館の役割」ということで東北大学の准教授の石井山竜平さんが講師です。

末包委員：次に公民館運営審議会についてお願いします。

2 公民館運営審議会について

渡辺（陽）：平成23年10月28日の午後2時より、ここ、学習室A Bで行われました。（仮称）貫井北町地域センター建設市民検討委員会の会議について報告しました。主に議論のあったところだけ報告いたします。図書館についての照明について、前川建築設計事務所より提案がありました。直付け蛍光灯と埋め込み型を基本にした照明計画が提案されました。居ごちの良い開架スペースなのだから、事務所的なものではなく、デザイン的にも工夫がある照明計画がよいという指摘がありました。次回に、再提案と言う事になりました。

菅沼委員：環境先進市をめざすという市の方針がありますから、LED照明が当然でしょう。

渡辺（陽）：一部取り入れる計画になっております。価格的に、まだまだ高額ですので、全部ということには・・・

菅沼委員：方針と実際が違ってはいけません。価格的にわずかな違いでしょうし、ランニングコストを考慮すればなおのこと、LEDをお勧めします。

渡辺（陽）：先にお話しましたが、公民館の展示スペースですが、南西側フリースペースに何箇所かつくっていただきました。

遠藤委員：ただ、南西側ですと、逆光線になりますから、そのあたりが心配です。

渡辺（陽）：南西側が単なるガラス面ですと、直射日光の問題、冷房効率の問題などありますので、設計者では透かしブロックを配置することを想定しておりまして、その見本も持ってきていました。それから、逆光の問題は、やはり気になりますので、展示面には、一般照明の他に専用照明を配置するという報告でした。

末包委員：公民館緑分館の場合には、魔法陣が壁にあります。貫井北町地域センターにも、何か象徴的なものがあるといいですね。

渡辺（陽）：その他は、都公連委員部会と公民館事業の報告ということで、地域センター施設研究講座の報告パンフをお配りしました。審議では、平成24年度教育施策と公民館事業計画が議題でした。教育施策については、公民館の基本方針が決まりましたときにはそれに合せて、変えましたが、来年度は、その方針に沿って事業を実施するという位置づけの年ですので、あまり議論にはなりませんでした。その他、三者合同会議の議題がテーマとなりました。

末包委員：その三者委員とは、公民館運営審議会委員と図書館協議会委員と社会教育委員の三者のことだと思います。先ほどの三者の研修の話は、公民館運営審議会委員と企画実行委員と職員の三者です。同じ三者と言う言葉を使うのは、紛らわしいので、名称を変えてはどうでしょうか。

3 公民館事業評価について

渡辺（陽）：前回、お話ししましたように、本館は、成人大学を対象に評価をいたします。今回は、資料を共有いたしまして、次回までにこれらに目を通して頂いて、評価を行うということで、いかがでしょうか。

菅沼委員：読んでおくだけでなく、一応、各項目について、点数を入れてみて、発表するほうがいいのではないですか。

渡辺（陽）：わかりました。そういう方法で次回行いましょう。

4 市民活動団体等リストについて

渡辺（陽）：公民館利用団体等リストづくりが部、課の枠を超えて進んでいます。市民協働の枠組みでつくる試みで、コミュニティ文化課が窓口になっています。公民館としても協力することが決まっています。公民館各室にチラシを掲載するとともに、市報掲載希望で来館した各団体のみなさんにPRいたします。

5 その他

渡辺（陽）：多摩・島しょ助成金の対象講座の件ですが、まだ、正式には決まっておられません。昨年どおり予算化されれば、今年度の続きの講座を提案したいと思います。みなさまから頂いたプレゼンテーションでの提案を実際の事業に結びつけて具体化する講座ですね。その他、情報提供ですが、質問のありました福祉会館の耐震補強工事の詳細はまだ決まっておられません。決まり次第報告します。

末包委員：使えなくなる期間に、代替りの場所が確保されるのでしょうか。

渡辺（陽）：まだ、この件については正式には決まっておられませんので、代替の件も何も決まっておられません。代わりの場所といっても、現実にはなかなか、難しいかもしれません。こういう時には、今まで、ぜひ機会があれば実施したかった遺跡めぐりなど、懸案の講座企画の実施なども一つの選択肢ではあるかもしれません。

菅沼委員：戦争遺跡の増田さんのお話のテープは、聞いてみましたか。

渡辺（陽）：ありがとうございました。公民館運営審議会と重なって、出席できませんでしたので、録音させていただきました。自主グループ「クリスタル」とシルバー大学の準備会のみなさんで計画していただいた企画でしたが、後で記録を聞きまして、大変素晴らしい企画だったことがわかりました。歴史を語り継ぐ講座は、とても大切だと思いました。あと、戦争遺跡ではないのですが、小金井市は、縄文遺跡や旧石器遺跡の分野においても、全国的にも大変有名な地域です。公民館では、文化財センターとはまた違った視点と展望で事業を企画できます。平成25年度には、このような講座企画も選択肢のひとつだと思います。

以上